

2006 年 5 月 8 日（火）

問題発見技法 課題 1

【進め方】

1. テーマを決める
2. そのテーマに沿ってブレインストーミング（意見数は 50 以上を目安）
（B4 用紙を意見リスト書き出し用紙として利用）
3. まとめる
3 つのアイデアを選ぶ，または，意見・アイデアを 3 つに集約する
4. 評価する
バランスシートにより 3 つのアイデアを評価する
評定尺度法により 3 つのアイデアを評価する

【注意点】

1. テーマは，ブレインストーミングに向くテーマで 30 分程度で話し合えるものを選ぶ．漠然としすぎているものや，とても大きなテーマは自分たちの首を絞めることになる．（悪いテーマの例：文教大学の改善）
2. 評定尺度法の評価の進め方
 - ① 「評価基準」を選ぶ（例：経済性，独創性など）
 - ② 「評価基準」の重みを決める（例：経済性は 0.4，独創性は 0.1 など）
 - ③ 「尺度」を決める（例：5 段階，10 段階，3 段階など）
 - ④ 「尺度」の点数を決める（例：非常によいは 5 点など）なお，なぜその評価基準を選んだのか，なぜその重みがよいのか，なぜその評価尺度がよいのか，自分たちのテーマにあった評価基準・尺度である説明がつけられなければ駄目．

【レポートの書き方】

表紙には，「グループ名」「参加メンバー」「テーマ」「会議日付（複数ある場合はすべて）」を書く．次に以下の 1～6 について順に書く．

1. はじめに
（ここには，なぜそのテーマを話し合うのか，動機・目的を書く）
2. 3 つのアイデア
（ここには，最終的に絞られた 3 つの箇条書きと，なぜその 3 つに絞った・まとめたのかの説明を書く）
 - ①……
 - ②……
 - ③……

3. バランスシートによる評価

(ここには、バランスシートによる評価を3つそれぞれについて書く)

4. 評定尺度法による評価

(ここには、評定尺度法による評価を3つそれぞれについて書く)

4-1. 評価の仕方

「評価基準」とその重みを示す。(なぜその評価基準・重みが、自分たちのテーマについてのアイデアの評価として妥当なのか、説得力のある説明も必要。書く)

「尺度」とその点数を示す。(なぜその尺度が、自分たちのテーマについてのアイデアの評価として妥当なのか、説得力のある説明も必要。書く)

4-2. 評価

4-1 で示した評価基準・尺度に基づき、3つのアイデアそれぞれについて評価をし、点数化まで行う。

5. 考察

(ここには、考察を書く。話し合ったテーマに対しての結論と考察。まとめられたアイデアから何が得られるのか? どんな嬉しいことが分かったのか。今後の展開。議論で足りなかったこと、やれなかったこと、今後の課題などについて考察をおこなう。)

6. 参加メンバー毎の意見・コメント

6-1: 議長 a0P01000 ○△ ×男

.....

6-2: 評価者 a0P01999 □◆ ◎子

.....

6-3: メンバー1 a0P00000 ○◆ ☆男

.....

最後に付表として、ブレインストーミングを行った際の下書き用紙(50以上の意見が書かれた用紙)を添付しておくこと。

【レポート提出について】

☆ 提出日時: 5月23日(火) 授業時

☆ レポートは「A4 縦書」「左上1カ所ホチキス止」とする